

平成23年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費
 2項 畜産業費
 2目 畜産振興費

畜産課(内線:7831)
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取地どりブランド生産拡大支援事業	29,687	1,080	28,607				29,687	
トータルコスト	34,480千円 (前年度 5,921千円) [正職員:0.6人]							
主な業務内容	地どりの生産拡大に関する協議、補助金事務							
工程表の政策目標(指標)								

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

「鳥取地どり」(以下、地どり)を県のブランド品として定着させるため、地どりの生産等に必要な施設及び生産性向上等に資する機械の整備に対し支援する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区分	事業主体	予算額	補助率	事業内容
(1)生産施設等の整備費補助	地どりの生産規模拡大を行う者又は生産を開始する者。	19,817	総事業費が1億円を超える場合で、3人以上の新規雇用を伴う場合は県1/10以内。	地どりの飼養施設及びたい肥舎等の整備費に対し助成する。 ※ただし、既存施設等の撤去、土地造成や、管理棟・倉庫等の汎用性の高い施設の建設に係る費用は含まない。
(2)生産性向上に資する機械等の整備費補助	地どりを生産する者又は生産を開始する者。	9,870	上記以外の場合は県1/3以内(補助限度額は1千万円。)	地どりの生産性向上等に資する機械の整備費に対し助成する。 ※飼養環境の向上、飼料費の低減、労働力の軽減、排せつ物の処理対策等を図るために必要な機械を対象とする。
計		29,687		

3 これまでの取組状況、改善点

- 地どりの生産・販売は、平成21年3月末に山陰食鶏農協が休止してから鳥取市鹿野町の法人のみで行われてきたが、平成22年5月末から智頭町の法人及び倉吉市の個人が新たに生産・販売を開始し、県内の生産者は3者となった。
- 地どりの生産羽数の拡大を図るため、今年度、鳥取市鹿野町の法人が当事業を活用して鶏舎2棟を整備。今年度の生産羽数は約4,000羽(前年度:約3,000羽)となる見通し。また、県内全体の年間生産羽数は3者合計で約4,700羽となる見通し。
- 来年度は、鳥取市気高町の生産グループが新規参入予定であること、米子市の法人が大山町で生産再開予定であること、既存生産者に増羽意欲があることから、鶏舎等の施設整備への支援を継続するとともに、地どりの生産性を向上させる機械等の整備についても支援し、生産者・生産羽数の増加を図る。